

平成 29 年度一般社団法人全国保健師教育機関協議会
緊急集会 Part II 実施報告
看護学教育モデル・コア・カリキュラムを機に保健師教育上乗せを考える

平成 29 年 8 月 20 日（日）日本教育会館での緊急集会 Part II に 65 名の方が参加されました。



看護学教育モデル・コア・カリキュラム策定が進む中、看護師教育課程における地域看護学と保健師教育課程の公衆衛生看護学について活発な意見交換を行った緊急集会 Part I（7 月 2 日）の後、各大学において看護師四年制教育および保健師教育課程上乗せを検討している教員から、設置申請経験者の話や情報交換の場を望む声があり、今回の開催となりました。

1. あいさつ 岸恵美子会長

全国保健師教育機関協議会は、公衆衛生看護学をコアとする保健師教育の充実と質保証を図るため、看護師教育課程への上乗せ教育を推進しています。本日は会員校の皆様のご要望にお応えし、大学院修士課程保健師コースの教授陣ならびに助産学専攻科の設置経験者をお迎えしました。また、個別相談はリレートーク登壇者に加え、夏季研修分科会の講師陣にも対応いただけることを感謝します。大学院または学部専攻科を模索されている会員校の皆様の参考になれば幸いです。

2. リレートーク「上乗せの方略と設置認可の実際」

①和泉 京子氏 武庫川女子大学大学院 教授（看護学研究科保健師コース責任者）

資料 以下の URL を参照してください。

URL : <doc/core-curriculum-2017-houkoku02-shiryou.pdf>

②島田真理恵氏 上智大学総合人間科学部看護学科 教授（助産学専攻科主任）

③佐伯 和子氏 北海道大学大学院保健科学研究所 教授（公衆衛生看護学科目群領域責任者）

3. 個別相談

①対応して下さった先生方 6 名（国公立 2、私立 3、専攻科 1）

②相談者 11 名（国公立 3、私立 5、専攻科 3）

参加者からの感想の一部をご紹介します。

上乗せの準備に向けて大変参考になった。学内の看護教員の認識の共有を図り、育てたい人物像を明確にすること、タイミング・機会を上手く捉え地域住民や関係者の力を借りる重要性がよくわかった。現在の大学院にコースを設置する方略が具体的に理解できた。学部専攻科についての情報がこれまでなかったので、早速帰って理事者と相談したい。

看護の拡大によって保健師の役割も変わります。全保教は特別プロジェクトを設置し、保健師教育モデル・コア・カリキュラムを作成中です。保健師教育変革のチャンスと捉えて取り組みます。